

## 令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 4年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○書く力の向上 (漢字、作文)	○言葉の力を身に付け、活用できる授業づくり ・辞書引きによる正しい語いの獲得、短文作りを行う。 ・文章を書く機会を増やし、構成を考えた文章の練習をする。	○文章量や表現力など、ポイントを意識して文章を書く力が高まった。 △語彙力など個人差がまだある。
社会	○社会的事象への関心・意欲・態度の向上	○具体的資料を活用した授業づくり ・児童に身近な資料を用い、複数の資料を比較・関連させたノート指導を行う。 ・「自分にできること」という視点での思考、社会参画の意識向上を図る。	○資料を活用したノートづくりができるようになってきた。実物を見たり、実際に話を聞いたりすることが学習意欲の向上につながった。
算数	○知識・理解の定着	○一人一人の課題に応じた授業づくり ・個々の課題把握に努め、少人数指導による支援の充実を図る。 ・スキルタイムを活用する。 ・場面や数の意味が具体的にイメージできるようにする。	○少人数指導による指導を充実させたり、基礎的な問題に繰り返し取り組んだりすることで学力の底上げをした。
理科	○知識・理解の定着	○分かったことや自分の考えが明確なノート指導の工夫 ・穴埋めやキーワードをヒントに考察させたり、結論の記述をさせたりする。 ・科学的な概念を適用した日常生活の事象の説明をさせる。	○キーワードをヒントに考察させたり、言葉を補ってから結論を書かせたりしたことで、自分の考えをまとめる力がついた。 △個人差はある。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の良さを味わう中で技能を向上させる授業づくり ・自然で無理のない声で歌うための歌唱指導の充実を図る。 ・互いの演奏を聴き合う中で、重なりを良さを実感させる。	○自然で無理のない声で歌うことや二部合唱の良さを実感した児童が増えた。 ○合奏の中で音の重なりを良さを実感した児童が増えた。
図工	○発想・構想の能力の向上	○造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについての考えが深まる授業づくり ・様々な参考作品や考え方を紹介する。 ・材料や道具などの使い方工夫できるところや組み合わせでできることなどを確認する。 ・工夫している児童の作品を紹介し共有する。	○材料や道具を自分の表したいことに合わせて工夫して使おうとする姿が増えた。
体育	○「ソフトボール投げ」 ※前年度の体力テストデータから分析	○日常的に投げる運動を取り入れる授業の工夫 ・紙で作った棒やタオルなど、操作しやすい用具を振ったり投げたりする。 ・準備運動等で投げる運動を意図的に取り入れていく。	○男女問わず意欲的に取り組んでいた。 △短時間でも繰り返し練習していくことが必要である。